

平成28年度事業計画

1. 喉摘者発声の自立支援

- (1) 年間5回、発声力の試験を行います。
- (2) 毎月1回初心クラス指導を中心に研究勉強会を行います。
- (3) 6月に声の祭典（カラオケ大会）を開催し、リハビリの成果を試験します。
- (4) 2月にスピーチ発表会と、家族を交えての座談会を実施します。

2. 喉摘者発声の講習会開催

東京を中心に、広く国内外の喉摘者の社会復帰および自立のため、年間100回以上、喉摘者発声講習会（発声教室）を開催します。

3. 賛助会員の募集

法人、個人の賛助会員を募集し、本会の活動をさらに充実させる努力を続けます。

4. 教材の出版、会員募集パンフレット頒布、PRビデオの制作

喉摘者発声の研究、指導のためのテキスト・DVDの出版、入会のためのパンフレット頒布、及びPRビデオの制作を行います。

日喉連発声訓練士養成カリキュラム・教材を作成します。

5. 機関誌の発行

会員の啓発、親睦および広報活動のため機関誌「銀鈴」63号、及び「ぎんれいだより」年2回（4月と10月）を発行します。

6. 国連および同種団体との連携活動

日喉連のブロック研修会に積極的に参加します。また国内外の同種団体との合同研究会の開催につとめます。また国連経済社会理事会からの協議に積極的に応じます。

7. 東京都障害者福社会館との運営協力

会館利用者用複写機および印刷機を設置提供し、円滑な運営に協力します。

8. その他

- (1) カラオケ教室の運営 — 通常教室月4回の他に上級クラス終了後、テスト的に月1回・14時30分～16時までカラオケ教室を開催します。
- (2) 本会の目的達成するために日喉連及び他の障害者団体と連携し、広報活動等の事業を行います。